

序章 調査の背景と目的

1. 調査の背景

平成 22 年（2010 年）開催された生物多様性条約第 10 回締約国会議（以下「COP10」という）を契機として、特に生物多様性の分野において多様な主体の参画による持続可能な地域創出のモデルを構築し、その取組を発展させるとともに、こうした取組を COP10 の場で世界に発信することが求められてきた。

こうした背景を受けて、中部地方環境事務所では、平成 21 年度には、生物多様性の保全と持続可能な利用上の課題の解決に向けた方向性を示すため、伊勢・三河湾流域を対象とした「生物多様性を支える市民・地域による戦略的地域づくりビジョン」（以下「ビジョン」という。）を策定し、伊勢・三河湾流域の生物多様性について考えるための場と輪をつくる、伊勢・三河湾流域の再生に向けて行動する、伊勢・三河湾流域の生物多様性の保全・再生の仕組みをつくるという、知識・文化、行動及び制度という連関する 3 つの要素から成る目標が示された。

ビジョンの第一の目標である、「場と輪をつくる」とは、伊勢・三河湾流域における土地の履歴や様々な地域の取組の中に地域知とも呼ばれる生物多様性の持続可能な利用に関する伝統的な知恵が存在すること及びその重要性を踏まえ、「生物多様性の保全と持続可能な利用についての知識・文化を考えるための機会を設ける」とことと位置付けることができる。

本調査における生物多様性の持続可能な利用に関する伝統的な知恵とは、ビジョンにおいて引用している次の考え方を基礎としている。

「自然と人間との間の相関関係が具体的なかたちで表現されるのは、自然資源の利用という面においてである。

伝統社会では、人やものの移動がきわめて限定されているため、生活を営む場所で利用可能な自然資源に頼らざるをえない。

したがって、これらの自然資源の枯渇はただちに、伝統社会の存続自体を危うくする危険を内在している。

伝統的社会的文化は、地域の自然環境のエコロジカルな諸条件にかんして、くわしい深い知識をもち、エコ・システムが持続的に維持できるように、その自然資源の利用にかんする社会的規範をつくり出してきた。

自然資源の利用にかんして、長い、歴史的な経験を通じて知識が形成され、世代からつぎの世代に継承されていった。自然環境にかんする知識と、その世代間を通ずる伝達によって、文化が形成されると同時に、文化によって新しい知識が創造されてゆく。

何世代も通じて知識が伝達されてゆくプロセスで、社会的制度がつくり出される。そして日常的ないし慣行的な生き方が、社会的制度として確立し、一つの文化を形成することになる。」（出典：宇沢弘文「社会的共通資本」211～212 頁：岩波新書）

したがって、本調査では、三河湾流域の特定の集落を対象に、集落住民が獲得してきた自然資源の利用に関する知識および文化や自然資源の利用に関する社会的な規範等を明らかにすることを通じて、今後の地域における生物多様性保全と持続可能な資源利用に向けた取組を推進するための方策を検討することが求められている。

2. 調査の対象と目的

本調査では、知多半島先端の師崎^{もろざき}と渥美半島立馬崎を結ぶ海域と、干潟・藻場等を含む沿岸域、湾内の島嶼地域を含めた三河湾と、岐阜県・愛知県・長野県のうち、豊川及び矢作川流域の下図に示す 19 市 11 町 2 村を含む地域を対象とし、この範囲を「三河湾流域」とする。

三河湾流域の海域は、豊川、矢作川等の一級河川が流れ込む閉鎖性水域であり、沿岸域の一色干潟、六条潟、汐川干潟等の干潟は、水鳥や貝類等の多様な生物の生息・生育の場となっている他、湾内ではスナメリの生息も確認されている。さらに、陸域では、高位標高部に残るシイ林、カシ林、ブナ林などの自然植生が保全されている。さらにカモシカ等の大型ほ乳類、クマタカ等の猛禽類、国指定天然記念物ネコギギなど希少な生物の生息が確認されている。

このように、三河湾流域では、森・川・里・海のそれぞれに関する、またそれらが互いに有機的に関連した豊かな生物多様性が維持されている。

こうした三河湾流域の生物多様性を支えている要因には、地域で長年継承されてきた生活の知恵や、農林漁業をはじめとした地域の生業の規範等によって、持続可能な資源利用が行われ、維持管理がなされてきたことにある。

このため、三河湾流域における生物多様性の持続可能な利用に係る伝統的な知恵を将来に継承するため、また現代および将来の生物多様性の保全に活用するために、地域で長年継承されてきた生活・生業の仕組みを「聞き書き」等の手法により明らかにすることを通じ、地域の生物多様性の保全と持続可能な利用を進めるための社会的な要件について検討し、その成果を広く公開するためにとりまとめることを目的とする。



図序-1：調査の対象地域